



戸畑中央小 No.9 R元. 9. 6

学校だより

発行者 校長 新森修二



3つの花を、大きくさかせましょう

自然教室に行きました

5年生が、9月2日（月）・3日（火）の2日間、自然教室に行きました。場所は、「玄海青年の家」です。

1日目の午前中は雨のため、予定していた活動ができませんでした。

午後からは天気も回復し、様々な活動に取り組む事ができました。活動は、カヌー、ボルダリング、レザークラフトです。

どの活動も、所の先生方に丁寧に指導していただきました。カヌーでは、パドルの使い方を教えていただいて、池に出て行きました。初めはなかなか上手くできませんでした。しかし、数分するとあつという間に上手になっていきます。子ども達の吸収力はすごいです。実際に体験させることの重要性を感じました。

自然教室は、学びの場です。班の人と協力しながら価値のある活動をつくり出していくことを大切にします。例えば、班長は先を考え、みんなをまとめていきます。美化係は、トイレのスリッパが並んでいないことなどに気づかなければなりません。自分達が揃えるだけでは不十分です。みんなに呼びかけ、みんなで気を付けていく集団をつくらなければなりません。

それぞれの係が自分の役割をきちんと理解し、その責任を果たすことが必要なのです。

2日目は、ビンゴラリーに挑戦しました。グループで協力しながら、ポイントを見つけていく活動です。どのグループも仲間と協力し、やり遂げていた姿は、とても立派でした。戸畑中央小学校の子ども達のよさを改めて見た気がしました。

2名の5年生児童の感想です。しっかり学んだことが読み取れます。

「(略) 楽しかった思い出の他に、学んだことがありました。『時間をつくるのは自分達』ということや『友達と力をあわせる大切さ』『感謝の気持ちを伝えることはとても大切』ということなど、たくさん学びました。学校でも、『チャイム席を守ったり、友達と協力して係の仕事をしたりすること』や『学校を支えてくれている方々、毎日ご飯を作ってくれている調理師さん、お父さんやお母さんへの感謝の気持ち』を忘れてはいけないなと思いました。自然教室だから学べることだと思いました。」

「(略) カヌーに乗っていると木の所に行ってしまうて戻れなくなりました。そのとき、あまりしゃべったことのない友達がやり方を教えてくれました。あまりしゃべったことのない友達など関係なくお互いを思いやれるのは素敵だなと思いました。私もそういう人になりたいです。そして私が6年生になって学校のリーダーになったら、『誰にでも思いやりをもてる優しい人が溢れる素敵な学校にしたいな』と思いました。」



カヌーの様子



ボルダリングの様子

夏休み作品展、力作が集まりました。

臨時休校のため、延期していた「夏休み作品展」を行いました。

どの学年も素晴らしい作品ばかりで、感心しました。自由研究や木工作品、創作の作品、絵など力作揃いです。

ご家庭で、アドバイスをさせていただいたり、一緒に手伝ってくださったりしたことと思います。ありがとうございます。

この作品作りを通して、子ども達は多くのことを学んだのではないのでしょうか。

時間をかけながら研究・工夫することで、興味・関心が高まったり、将来にわたって追究する態度が育ったりします。

見学した2年生児童の感想です。

「いろいろな作品があって、おもしろいものばかりでした。不思議なものもありました。（そう思った）理由は、夏休みにいっしょうけんめいにつくったからだと思います。」

子どもなりに、感じるがあったようです。



力作がそろった作品



作品を見学する様子